

もりやま景況調査

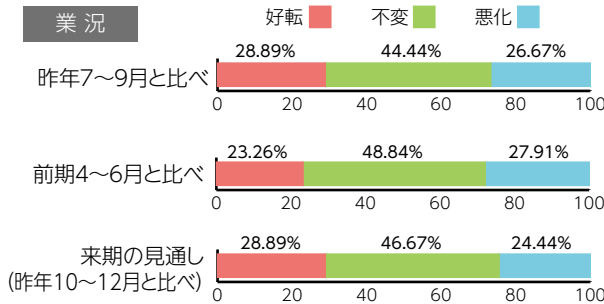
令和5年7月～9月

※ DI (Diffusion Index (景気動向指数) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値



業況

前回調査 (令和5年4月～6月期) と比べて改善している。来季もやや改善の見通し。

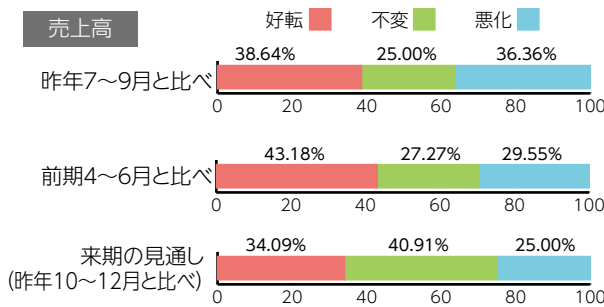


7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	2.2	
	小売業	▲ 36.4	
	製造業	▲ 11.1	
	建設業	22.2	
	サービス業	16.7	
	卸売業	50.0	

※業況 DI (好転－悪化) は今期が 2.2 で前回調査の▲ 17.6 から 19.8 ポイント改善
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は 4.4 で、今期より 2.2 ポイント改善の見通し

売上高

前回調査 (令和5年4月～6月期) と比べてやや改善している。来季もやや改善の見通し。

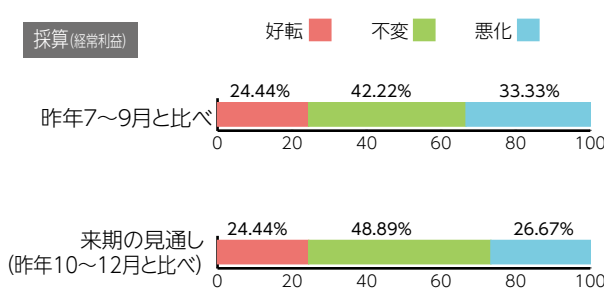


7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	2.3	
	小売業	▲ 10.0	
	製造業	0.0	
	建設業	0.0	
	サービス業	▲ 8.3	
	卸売業	75.0	

※売上高 DI (好転－悪化) は今期が 2.3 で前回調査の-7.7 から 10.0 ポイント改善
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は 9.1 で、今期より 6.8 ポイント改善の見通し

採算 (経常利益)

前回調査 (令和5年4月～6月期) と比べて改善している。来季もやや改善の見通し。



7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 8.9	
	小売業	▲ 36.4	
	製造業	▲ 22.2	
	建設業	11.1	
	サービス業	▲ 8.3	
	卸売業	50.0	

※売上高 DI (好転－悪化) は今期が▲ 8.9 で前回調査の▲ 25.0 から 16.1 ポイント改善
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は▲ 2.2 で、今期より 6.7 ポイント改善の見通し

コロナウイルス、物価高騰の影響などの意見

- ・ 光熱費の高騰、最低賃金の増加、資材の値上げ等経費の削減に努力が必要。新しい需要開拓を模索中。
- ・ これ以上の円安を止めて円高に転換できる政策を希望する。

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

